夕刊　四月三十日發行
（大正十年四月二十二日　第三種郵便物認可）　昭和十九年五月一日　磐城新聞　（水曜日）　第五千八百六號　［一］

病床日記

濱田隼雄

（三）

Kさんより二つか三つしか多くないのに、先生はやはりゑらいと思ふ。あたしがまちがつたことを云ふと短い言葉で、遠慮なくやつつける。時には癪にさはつて何とか反抗してみようと思ふけれども、どうしてもできない、安心してものが云へるのは臺北で先生一人だ。あたしの家の事情もいつの間にかちやんと知つてる。のんきさうでゐて、こまかい注意が行き届いてゐる。

『君の嫌ひな冬の雨だね。胃散であるかい？』

あたしは笑つて小さい罐を出してみせる。

『病院がかくせ。しかし羅紗問屋の女番頭らしくていゝさ。正月までこゝにゐるのかね』

『ねゝ、多分』

『來年はいくつになるんだつけな。三か？』

『ねゝ』

あたしはちよつと淋しくなつた。

『淋しい顏をするなよ。來年はお嫁にゆくさ。番頭はやめろよ。衛生上よくない羅紗だつてもう無いだらう』

それからあたしは病院でみる男たちの嫌なことを訴へてしまつた。先生は默つてあたしにしやべらして置いて

『どうも君は人が悪くなつたな』と笑つてゐる。あたしは、人が悪くなつたと云ふ言葉の裏に『それでいゝさ』と云ふ先生の氣持がわかる。先生はよく『自分の周圍を批判し給へ』とあたしに聞かして下さつた。そして『批判しながら自分を高めるのだ、本當に人間を尊敬することを知るためには人を輕蔑することも知らなくちやいかん』とも云はれ。あたしはまだ尊敬すべき人をみつけないだけだ。何でも彼でも輕蔑だけすることの、まちがつてゐることは知つてゐるつもりだ。

『羅紗ばかり眺めてるより、かうした所でいろんな人を見てゐるのもいゝね。住み馴れた所では感じがにぶるから、時には新しい所にきてみる必要があるよ』

それから先生は『大事にし給へ。女房もくるつて云つてた』と云つて歸つて行かれた。先生の曲つた背中が廊下に消わるか消わないかに、マダムの機關銃掃射が始まる『今のはあなたの何？』あたしは永いこと掛けてゐた黑眼鏡を外したやうな明るい氣持で、天井の黄ばんだ汚點をみつめながら默つてゐる。

雜吟

猿狩牧秋

（一）

○じつくりと厚葉を持てる蠶豆（そらまめ）の畝間の土ゆ丈伸びて見ゆ
○北風の日には聞え來る四ツ倉のセメントのボウ〳〵鳴るを
○混合へる列車の中に人すくなき一輛かありたり二等車なりき
○兄弟の末に生れ出でいゆ先に逝き給ひたり六郎叔父は
○若く逝きぬ叔父をとむらひ思ひ極む叔母とその子と寫眞を撮りぬ

5月1日
――
△皇軍九連城を占領す（明治三七）△臨時政府行政院長王克敏來朝（昭和一三）△秋田縣下に大地震起る（同一四）

○
汝、若し石たらんか、須らく磁石たれ。汝、若し草たらんか、須らく知羞草たれ。汝、若し人たらんか、須らく愛の人たれ　ユーゴー

講談

夜嵐お絹（55）

悟道軒圓玉
筒井直衛 繪

相合傘

俄雨を凌ぐ爲酒井豊之助主從は商人家の軒下に入り雨の歇むを待つ、所は兩國で江戸一番の娛樂場、小屋掛の芝居もあり、又曲藝もあり、大道講釋、デロレン祭文其他廣巷路の中央の屋台見世、食物を主としての商ひ此中にカラ飴と云ふ稱へる物がある、それは雪花菜を酢につけて握り其上に鰯をのせて賣る、此の時代一個の價は四文、又此の屋台店の食物は品物の善惡を論せず一個四文それで是を四文屋と云つた、

此の廣巷路には女義太夫の寄席と新内の寄席もありこれを土場と名づけた　勤番侍が主なるお客、白粉をつけて島田髷に取上げた女の太夫のサワリが見台へ島田髷を打ちつけると、富士山の見えぬ國から來た田舍侍が、ヨーゑらいぞ天晴れ〳〵などと褒める粹人だと自稱する勤番者は新内の寄席に行く『四谷で初めて會ふた時……』などと甲高い聲を聞くとヨー四谷で會ふたが、四谷は何の邊か…』などと聞くものがある、蘭蝶の會つた所を知つたとて何の利益もあるまい、何しろ江戸時代の兩國は今の淺草六區同樣、

さて豊之助は孫助と共に雨宿りをしてゐたが雨は次第に強くなるばかり、

『こいつは孫、やまねゑぞ』

『困りましたナ』

『仕方がねゑ、濡れて歸るか』

『まアお待ち下さい下駄屋へ行つて傘を買つてまゐりませう』

と云つた時に、孫さん何處へ行つたの……と聲をかけた者がある

それで孫助と豊之助がその聲の主を見ると、年頃は二十二、色のクッキリと白い、瓜實顏な好い女です、髮は島田に結ひ、白の葛引をかけ平打の銀の釵、養老絞りの浴衣に八端と黑襦子

の晝夜帶を締め掃除の行屆いたきれいな足に吾妻下駄をはき、もつとも大概下駄は足に穿く、……共云へない……藝者は手に穿く、斯う云ふ例外もあります、二段彈きの蛇の目の傘をさして孫助を見た其女が頗る婀娜めいてゐる、

『孫、あの女はなンだ』

『ヘエ、新内のお席に出てゐます鶴賀和歌吉と云ふ藝人でございます』

『粹な女だナ』

『ヘエ、江戸ツ子でござんす、オイ和歌吉さんもう歸るのか』

『今刎ねたんですよ、此の雨でお客の足も止まりましたから』

『さうか、それは好都合、この雨で今歇むかとこの軒下にボンヤリと立つてゐたが地雨になつたンでやみさうもねゑ、途中まで伴れて行つておくれ、お前は松阪町へ歸るのだらう、俺は濡れても構はねゑが殿様はお困ンなさる』

『オヤ、さう、それじやこれへ入つていらつしやい』

と云ひつゝ傍へ來て豊之助に挨拶をした、

『原庭の屋敷へ戻るが、松阪町まで伴つて行つてもらひたい』

『ようございます、お供いたしませう、孫さんお前さんは濡れるかねゑ』

『俺は濡れても宜い』

孫助は冠り笠のそでを締め直し、衣類の裾を絡げて二人の後に尾く豊之助に和歌吉は相合傘、頗る色氣がある、そも筋骨たくましき女との相合傘はうれしくない、

『殿様もつと傍へお倚んなさいたそでがぬれますよ』

『いやこれで宜しい、其前の家は松阪町の何の邊だナ』

『上野長家に居ります』

と云つたが上野長家とは吉良上野の屋敷跡、今は松阪町と云ふ歴史上の地名は消へ失せて東兩國となつたとか、

豊之助は兩國橋から回向院へそれから右へ切れて元町から相生町の裏通りを左へ切れると松阪町一丁目、砂糖屋の露地を入り突き當りの家の前に立止つた和歌吉、

『お母さん、今歸つたよ』

『おや歸つたかい』

と云ひながら出て來たは六十餘りになる老母

花　スカーフ　と　春　晴雨兼用傘
平四　つるや　電一四〇

菓子職人　女工さん（カツ燒き クラツ）各一名雇入れ度し
年齢を問はず御希望の方至急御來談下さい。
平市田町六八　カシワヤ

簡易金融
小口も歡迎いたします
茨城相互株式會社平出張所（金融業）
綠川喜三郎
假事務所　平市才槌小路二四

おでん　たつた揚　やきとり
一平　電話二六三番

仲立　土地建物賣買貸借　東北商行
平驛前

◀◁能率が上る
ムツソリーニペン
さびない、書きよい、もちがよい、三拍子揃ひの此の吾がムツソリーニを親愛なる事務家諸兄の机下に贈る
平市搔槌小路
代理店　魁文堂　電話313番

御婚禮御着附
パーマネント　ウエーブ
洋和結髮　オゾン美顔術
御婚禮のかつらを御利用下さい
御染髮洗毛
美爪術
電話　六七八營業所　五二五自宅
平市驛前
水野化粧院

氷賣場開設
今般御得意様の御便宜を計り工場内氷賣場を廢し大町一若松醫院前に氷賣場を設置、水野隆介を賣場主任に採用仕り候間御引立願上候
追而凍魚、鹽干物は從來通り本社（電二二八 三一六）に於て取扱ひ可申候
氷の御用命は
電話二九九番
平製氷直營賣場　平市大町
平製氷株式會社

開業廣告
先般平市五丁目額賀醫院にて治療致して居ました點送電氣治療所が四月二十三日より左記の場所に開業致しました
◎病名不明の病者は御出下さい。點送電療にて判明致します
◎電療の特長は特にリウマチス神經痛、胃腸病、其他
（但シ開業披露ノ爲二十三日ヨリ二十九日マデハ治療代半額頂キマス）
平市田町十九番地（末廣向ヒ）
榮花電療院

蒼白い顔をしてゐる時ではない
能食　能便　能眠　能働　の秋だ！
酵母劑の上を行く綜合ピルツ劑
胃腸強生　ミクローゼ
能食　能便　能働　能眠
ピルツ劑　ミクローゼ！
1 星製藥が我が細菌學の泰斗・豊島豐次郎博士に囑して研究實に十八年の末、漸く「酵母劑に優る」の確信を得て發賣したミクローゼは、能食・能便・能眠・能働の四能を十二分たらしめる作能を備へてゐる文字通りの強生劑である。
2 酵母の効果は、今や世に普く知られてゐるが、抵抗力の微弱な酵母は、製劑過程に於て死滅し易い嫌ひがある。
3 豊島博士はこの點に留意して、生存力の極めて強靭な日本固有のピルツ（有効菌）に着目され、これを生きたまゝの狀態で製劑化すのに成功されたのである。
4 故に、ミクローゼの効力は、酵母劑のそれに比して強力、且つ持續的である。腸内で、ピルツがどしどし殖えて行くのだから有難い。
5 ミクローゼを服んで、先づ第一に分るのは、食慾である。次に快い便通である。安深な睡眠である。――いや、それだけではない。腸内では、食べた食物を聊かの無駄もなく榮養として吸收するために、ミクローゼは絶えず活動を續けてゐるのだ。
一ヶ月分 三六〇錠　一圓五十錢
東京・五反田
☆星製藥株式會社

論説

地方ご經濟警察

敢て苛察に亘らず、而も放漫に流れぬ平署の經濟警察振りは、時節柄管内の消費大衆たる吾人として其の寛嚴宜しきに適したる當局の根本方針に多大の敬意を表して措かぬ。惟うに水も洩らさぬ司法檢察陣營の強化及びこ亦民衆の福祉を築く警察行政の健全なる遂行と共に所謂經濟保安の職能が、刻下の警察機能發揮上三角形の一邊として如何に重大部門をなして居るかは過ぐる司法官會議に於ける泉二大審院長の訓示中「國体に背戾する思想犯や現下の統制經濟を破壞して聖戰の遂行並に銃後の共存を危ふする違反行爲の如きは將に宥恕すべき事情の存する場合を除く外法律の精神を貫徹するため嚴重なる制裁を加へ敢て假借する所なきを期すべきである」云々冷嚴秋霜の如き一喝に徵しても蓋し思ひ半に過ぐるものがある。由來統制經濟は自由經濟から計劃經濟への過渡期に於ける資本主義經濟の一形態で、奔放なる自由經濟を抑制し、營業主義經營に對し國民全体の立場から整然たる統制を加へんとするもので銃後物資の調整、而して國民生活の保障を基調とする非常時國家の推進に極めて重大な一翼たるは云ふ迄も無い。今や平署の當該部署には關係書類が山積する迄に多くの事件が輻湊して居る。而も駈け出しの獵士が徒に獲ものの多きを誇負せんとする如き細故の摘發を機宜の程度に止め、兎を捕へに愚かにも傾けんとする全力を世にも不逞なる呑舟の魚に向けて最も效果的に自懲他戒の實を擧げんとしつゝあるの意圖を吾人すら容易に之を看取出來る事は、動もすれば殆ど例外ぬきに硬化する場合無きに非る當該官憲の大乘的襟度として之を多とするものである。斯くして尙ほ當局の長鞭馬腹に及ばざるに嫺れて人も無げなる闇の行爲に出るものありとせば吾人また何をか云はん。大方の戒心一番を望む

坪當り一石の雨に 農家の氣分頗る明朗
地方の苗代に漲る生色

地方の苗代は山手方面の一部を除き既に大体播種を終了した。秋の豐凶を運命づける發足點として此の前後に於ける天候は農家の最大關心を拂ふ處で當方でも過般來の雨不足から苗代時季の灌水を懸念した向もあつたが此程の大降りで此の憂ひは全然解消された。即ち一昨二十八日午前十時郡谷農試分場の觀測による前日來の坪當り降雨量は五四。三ミリ(九斗九升三合六九)約一石の慈雨に潤された高畑の耕地は微かな土の膨らみを見せて生々と晩春の息吹きに夢の如く陽炎ひ、當分事を欠かぬ水の安心に農家昨今の氣分は極めて明るく見受けられる

けふ市公會堂で 助川代議士講演
席上農會役職員表彰

郡下の理想鄉化實行委員大會は既報の如く今三十日午前十時から市公會堂に開き戰時下米增産について協議後助川代議士の農事講演を聽き大いに得るところがあつた、席上左記町村農會役職員の表彰式を併せ石城中堅農民生の入所式を擧行した

泉志賀謹之介、同吉田勝記、渡邊小林喜源、植田高木五郎、同古川確左衛門、由田下山田軍太郎、同瀬谷勝美、錦大平菊次郎、同松本勝雄、勿來荒井敬助、上遠野柳田米次郎、同上遠野俊夫、入遠野酒井正雄、飯野伊藤淺之助、同高崎才三郎、夏井渡邊泰衞、夏井久保木政直、高久本馬武、同鈴木平司、豐間志賀重石工門、同稲本千二、鹿島志賀直哉、同鈴木光慶、小名濱飯塚勝次、同高木保玉川遠藤喜三郎、同高萩儀平、磐城織內孝平、同箱崎恒司、湯本矢吹莊司、同鯨岡一馬、內郷根本保吉、內郷薬谷登之助、好間鈴木尙、同中山安實、赤井平澤內記、永戶組合遠藤延夫、草野大平芳孝、同新妻孝太郎、大浦酒井良造、四倉長谷川林平、下小川大野宮本竹治郎、下小川組合吉田長次郎、矢ヶ崎諫、同青山哲太郎

土の尖兵大陸へ
第一回福島中隊員追加
あすの出發豫定變更

滿蒙開拓の中堅として本縣から大陸に進出した青少年義勇軍は既に千五百餘名の多數に上り、之らは目下滿蒙の新天地の開拓に備へて夫々內地並に現地訓練所に入所し心身の練磨に努めて居るが此程引續き本年度第一回福島中隊員の追加を募集し之を渡滿せしむる事となり

一、祈願祭　今三十日午後二時植田町氏神々社

一、壯行會　同三時同町小學校

を執行明一日午前九時二十八分發で勇躍出發する筈であつたが都合により當分延期となつた

來月末日迄に必ズ爲スベキ 所得稅ノ申告ニ就テ
下
川鍋平稅務署長談

(四)乙種勤勞所得　註=乙種勤勞所得とは甲種(源泉に於て課稅を受くるもの)に屬しない俸給、給料、歲費、費用辨償、年金、恩給(一時金たる恩給を除く)及賞與並に此等の性質を有する給與を指すのであつて七百二十圓から基礎控除がある。

(五)山林の所得　註=山林の所得に付ても五百圓の基礎控除を認めて居る、併し基礎控除の總額は戶主及其の同居家族(戶主で別居する二人以上の同居家族に付亦全じ)分を通じ五百圓を超ゆることが出來ないことは事業所得と同樣である。

(六)乙種退職所得　註=稅法施行地外より支拂を受くる一時恩給及退職給與並に此等の性質を有する給與を指すのであつて支拂者を異にする每に一萬圓を控除した金額が課稅標準となる。

扶養家族(本年三月一日現在で同居する同一戶籍內の妻並に戶主及家族中年齡十八才未滿若は六十才以上の者又は不具癈疾に限り申請に依り一人に付年十二圓の割合で稅金から控除される)及生命保險料(所得者本人又は家族若は相續人を保險金受取人とする生命保險の保險料を控除申請した場合に限り前年中の拂込額利益配當を差引ない金額)に應じ最低四十八錢より最高十二圓の範圍內で稅金から控除される)の控除を受けたいと思ふ方は所得金額の申告と同時に其の旨稅務署に申請せねばならぬ。期限を失した場合は此の恩典に浴することが出來ないから充分注意を要する。申告書申請用紙は各區長の手許に準備してあるから用紙希望の方は最寄の區長に御申出を願ひ度い。尙ほ記載方其の他の點に付て不明の廉は平市役所又は稅務署に御尋ねあり度い

新綠の高月臺に 健康群像の跳躍
來る五日磐中記念運動會

新綠の高月台に千二百の全校生徒が溌剌たる健康群像の跳躍を見する恒例磐中開校記念陸上大運動會は今年も來る五日をトし午前九時から第四十二回の傳統を誇る豪華場面を展開するが、盛り磐山の番組中には時局的の多彩な出しものが多く交へられ、尙ほ例年呼び物のタンブリング等に參觀者を喜ばすものと豫想されてゐる

生徒繪畫展　當日は例年通り校內に生徒の繪畫展覽會を催す筈で出陳畫の制作に目下生徒は大童である

時局講演會
講師小林順一郎氏

經國聯盟磐城支部主催の時局講演會は明一日午後六時半から平商業學校講堂に於て開催さるゝが講師小林順一郎氏は當代知名の時局通、多數來聽を歡迎すると

青年學校觀察研究會
飯野校へ二百餘名參集

青年學校及び青年團の振興發展を圖る郡下の青年學校觀察研究會は既報の通り五月十六日飯野小學校に於て開催するが、當日の出席者は町村長、振興委員、專任教員、家庭科擔當主任、青年團長及各種團長等約二百五十名に達する見込みで盛會を豫想されてゐる

お茶付辨當
愈よあす賣出し

平驛でも新に考案した四十五錢のお茶付辨當を愈よ明一日から賣り出される

入替機關車 徹夜運轉

平驛では最近の貨物輻湊に鑑み從來日中のみ使用した入替機關車を來月一日から徹夜貨物消化の緩和をはかることゝなつた

滿洲行の平藝妓
一行七名の顏觸れ決る

滿洲の兵隊さん達を慰問する平藝妓班の顏ぶれは組合で銓衡の結果お師匠花柳登代藏さんをはじめ左記七名と決定、宮城新潟班と共に來月十五、六日頃約四十日間の豫定で晴れの門出をするが出しものは無謠、民謠など他に劣らぬものをと目下練習に汗だくである

花柳登代藏、杵屋十茂代、林家濱蔭、吉野家金太郎、開花歌丸、品澤えくぼ、金榮〆子

或は地元同志討か
縣下中等選拔野球
來月十九日決勝戰

春の縣下中等野球界の覇者を決定する選拔野球大會は二十八、九の兩日郡山市安積中學球場で擧行されたが地元平商は先づ6A—3で優勝候補の磐中を屠り、磐中また郡商を6—0で輕く一蹴、更に准決勝に進んだ平商は24—7の快スコアで安中の堅陣を擊滅した、磐中對若商の准決勝戰並にその勝者と平商との決勝戰は來月十九日行はれるが郡商に一點も許さず突き進んだ磐中軍の意氣すさまじく若商との准決勝にも先づ勝ち味は充分で或は地元同志討の決勝戰が展開されるではないかと觀られてゐる

剃刀で斬つたか?
次第に解ける啞男の兇行

娘斬りの容疑者として平署に留置中の啞の山口忠(三六)は苦心の追究の結果剃刀で女の腕を斬りつゝ兇器は二つに折つて川へ投げすてゝとその手眞似で語つて居るが何回女を傷つけたか、使用の剃刀も發見されぬので同署では引續き傍証固め、懸命、なほ竊盗十數件も判つた

隣保館が開きます
來月一日から申込受付

既報、市社會事業助成會の隣保館は新川南授産所東部に建物も出來來月五日開館式擧行の運びとなつたので同會ではこれを前にし同月一日から關界百名の申込みを受付けるが年令は四才から六才まで(昭和九年四月二日より同十二年四月一日まで出生)の軍人遺家族又は一般勞務者の子女おやつ代として一日五錢を徵收し大体午前八時から午後四時まであづかる、希望者は區長又は方面委員に相談の上申込まれたいと

島田忠夫 個展盛況

既報、島田忠夫氏の第二回日本畫個展は去る廿六日より廿八日迄銀座鳩居堂二階に於て開催したが、「山鳩」以下約三十點、力作としては夏目漱石原作の「草枕」屏風一双及び「童謠帖」屏風半双などの外俳畫風の淸品なる墨蹟の諸作は俗塵なき好個の小品として歡迎され賣約も多額に上り、飛驒春慶塗に氏が花卉の類をゑがいた短冊箱四方盆、銘々皿などは各方面の趣味家を充分滿足させた

春の衞生掃除執行

市の春季淸潔法は來月六日舊平窪、同十四日田町大通り警察署道路を境に西全部、翌十五日東全部の日割で執行する

鈴木千代吉翁

市內田町藝妓屋湖月こと鈴木千代吉翁(茨城縣多賀郡松岡町出身)は病氣中二十七日午前七時死去、行年六十七葬儀は來月二日午後三時自宅出棺市內長橋町性源寺で執行する

なほ喪主鈴木信雄氏は亡父の遺志により左記各方面へ合計百圓を寄附した

銃後奉公會へ三十圓、社會事業助成會、警防團、田町青年團へ各二十圓、磐城訓盲院へ十圓

平市慶弔錄

△出生　紺屋町三山村傳作氏二男傳君、月見町二三小泉五郎氏四男昂四郎君

○婚姻　本籍南町二〇湯本町傾城二〇大和田薰氏(三三)と草野村馬目字作の內一四八古市喜美子さん(三六)

▲死亡　中平窪字古館二五菜谷ミカさん(四二)

お披露目

暫らく手不足に惱んで居た福湧から薬樓の鮮新を想はする裝ひも楚々として新妓「小奴」が出現した、芳紀まさに十八歲、何卒よろしく!とある

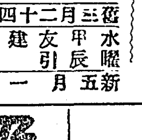
一日

旅次思家鄉　珠雲　小野菊平

山河隔絕恩纏綿　斷雁聲々月一天
察俗觀風千里客　望鄉半夜夢相牽

【小名濱測候所觀測】
滿潮　前一一、一〇　後―
干潮　前六、三五　後六、〇〇

新五月一日　水曜　舊三月二十四日　甲辰　友引　建　箕宿



▲一白　人に明かされぬ考へ事に苦心することあり▲二黑　無事の中にもなやみをふくむ外に出づるは不利▲三碧　骨は折れる日なれどもうまざれば成功すべし▲四綠　己が才智を包みはい角を現さず德を積むべし▲五黃　自重すべき日妄動するときは大失敗を見る▲六白　數日苦み居りし事も今日に至り解決すべし▲七赤　己を知り分を守りて徐ろに進めば吉日たり▲八白　人の世話事は成るべく避くべし口舌も注意▲九紫　商慶並び至る吉日にして開店名弘企業皆吉

天氣豫報
小名濱測候所觀測

今晚　南西の風晴　風やゝ强し
明日　同

磐城名物
靈峰羊羹
小川郷驛前　平屋賣店

==從業員募集==

本年六月鐵道開通　資本金百萬圓增資豫定

募集人員五十名　希望者は履歷書持參の上面談
時間　自午前七時　至午後六時

【資格】年令十六才より四十才まで　身体强健の方學歷不問
一、驛員　小名濱驛　江名驛　泉驛
一、助手女車掌　一、保線係　一、大工

【收入】初給月收四十圓より八十圓(年令により相違す)

【待遇】
一、昇給年二回　一、賞與年二回
一、公休月二回　一、精勤賞與每月支給
一、殘業手當支給　一、制服制帽支給

【福利施設】一、賣店(日用品)完備。診療所(家族實費診療)　寄宿舍無料

福島縣小名濱町
小名濱臨港鐵道株式會社

父千代吉儀永々病氣療養中の處養生不相叶二十九日午前七時死亡致し候に付此段御通知申上候
追而葬儀は五月二日午後三時自宅出棺性源寺に埋葬可致候
昭和十五年四月二十九日
福島縣平市田町
喪主　鈴木信雄
鈴木武雄
小泉伊之助
小井戶庄松
外親戚一同
友人總代　野崎滿藏

吸入用酸素　純度99%
度量衡　モノサシ　マス　ハカリ
計量器　体溫器　寒暖計
秤ノ取締　鑑定・修繕・各種其他
關內藥局　電話四〇番

謹告

市內仲間町居住
映寫技士　增山淺一氏

右は最近或種の題問にて當館關係者なる如く一部に傳へられ候處當館には右該當者無之に付何卒御了承被下度お得意各位に此段謹告候也

四月三十日
活動常設　平館